実証事業の実施について

資料8

＜スケジュール＞
11月末　委託先を公募・決定
12月～3月まで　事業実施
3月末　事業結果に基づく基準の見直し

内閣府 → 委託先（※）

選定

対象機関（※※）
- A校
- B法人
- C社
- ・・・

選定

プロレベルの人材

(有)伊豆沼農産　代表取締役　伊藤 秀雄　氏
小岩井農牧(株)　特別常任顧問　野澤 日出夫　氏
(有)木之内農園　会長　木之内 均　氏
(有)山口農園　代表取締役社長　山口 武　氏
(有)ストロベリーフィールズ　代表　遠藤 健二　氏
ヤヱガキフード&システム(株)　専務取締役　佐伯 秀郎　氏
(有)漂流岡山　代表取締役社長　阿部 憲三　氏
(株)ファーマーズ・フォレスト　代表取締役社長　松本 謙　氏
(株)産直新聞社　代表取締役・編集長　毛賀澤 明宏　氏

既存の育成プログラム

卒業生（※※※）

①プログラム認証基準案の検証

○既存のプログラムをプログラム認証基準案に基づきマッピング（「分野」ごとに整理・分類）
↓
プログラム認証基準案の妥当性を検証

②「できる」の評価基準案の検証

○「できる」の評価基準の項目案（例：経験年数・商品数・取引先数・顧客数・売上高・収益・雇用者数等）に基づき、卒業生等の経験・実績を分析
↓
・「できる」の評価基準案の項目の妥当性を検証
・各項目の評価指標案を作成

③プロからのヒアリング

○6次産業化のプロから知識・実績をどのように積み重ねたかをヒアリング
↓
プログラム認証基準案・評価基準案の妥当性を検証

：委託先が実施すること

（※）内閣府において一般競争入札・総合評価方式により選定

（※※）これまでに6次産業化の人材育成の講義を行い、卒業生を出している教育機関・研修主体を複数選定

（※※※）レベル2・3相当の既存のプログラムを既に履修した者を、①事業主（1～3次産業者）、②法人スタッフ、③コンサルタント・アドバイザー等の区分ごとに、複数名選定

事業結果を踏まえて小委員会において基準を具体化し、WGで承認